

2011年8月6日

## こども環境セミナー定例会（11年度第4回）報告

テーマ：「あそびの裏方、ハード」

### 概要

1. 主催 こども環境学会 北陸こども環境研究会
2. 日時 2011年8月6日（土）14:00-16:00
3. 場所 日本福祉大学富山オフィス  
(CICビル4F)
4. 参加者 (エントリー順) 以降敬称略  
岡部竜一、石永裕明、澤田真由美、  
早川隆志、富樫豊 計5人
5. 次第 進行・記録：富樫
  - ・早川隆志：挨拶
  - ・石永裕明（株岡部）  
：遊びの価値と遊具デザイン
  - ・澤田真由美（良久工業株）  
：枠のないお絵かき



野外遊具

### 基調報告 14:00～16:00

テーマ「あそびの裏方、ハード」の主旨説明

今回のテーマは、「あそびの裏方、ハード」と題して遊具に関する技術的な問題について話題提供をいただくことにした。子供は日頃より安心して遊んでいるが、これを可能にしているのは遊びのエンジニアたちの頑張りである。今回は、遊びの実践にスポットを当てるのではなく、遊びの裏方についてスポットを当てた。

#### 1. 石永裕明：「遊びの価値と遊具デザイン」

日本における野外遊具の開発と事故の歴史を展望し、安全性に関する行政や協会の取り組みが紹介された。続いて、遊びの視点からハザードとリスクについて説明があり、あってはならない危険性（ハザード）には必ず防ぐようにするが、リスクという危険性についてはリスク回避能力が養われるようにすべきであると力説されていた。その後、当然遊びの本質的意味について熱く議論した。なお、以下に、遊具と事故、対応の歴史を簡条書きにしておく；

- (1) 1950年代の児童公園では、野外遊具の定番であるブランコ、滑り台、砂場において大事故は無かった。
- (2) その後、遊具が開発され世に登場するとともに、事故の危険性が増加し、1962年には、札幌での野外遊具による死傷事故が日本発の大きな事故として記憶されている。
- (3) 行政や協会では1998年に安全管理を含めた遊具の安全調査が行われ、2008年には国交省で遊具の安全基準が制定された。

#### 2. 澤田真由美：「枠のないお絵かき」

2008年にアメリカで開発され商品化された「アイデアペイント」という商品について説明があった。これは、壁を簡単にホワイトボードにすることができるペイントであり、場所や大きさで限定されることなく、ホワイトボードを設置できるといったしるものである。企業などの会議や討議のときには、壁全面を使って自由奔放に描き書き込むことができるとあって、大変注目されているという。澤田さんは、子供のお絵かきの分野でも、この製品を利用活用することを考えておられ、富山大学の街中コミュニティ（学生の居場所）において、実際に子どもたちに絵を描かせることにしているという。

絵を制約無く描かせることのメリットは、子供に、運動能力の向上、協調性などの素養がはぐくまれるのではとのことであった。

その後の討議において、イタズラ村ではまさに枠の無い自己表現として、壁や床や天井に自由に絵を描か



お絵かき by アイデアペイント HP

せている。効果は大であるとのコメントがあった。

**次回** 11月の土曜日(日にち未定) 14:00-16:00、  
マリーマリーを予定 10月にご連絡します  
話題提供予定者：丸谷芳正、栗原知子、早川隆志、富樫豊